私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号0002901

2020年度エコアクション21 環境経営レポート

【期間：2020年9月21日～2021年9月20日】

（工場正面写真/弊社ホームページより）

株式会社加積製作所

KAZUMI

株式会社加積製作所

発行日：2021年10月28日

改訂：年　月日

Rev：

【1】組織の概要（2021 年 10 月現在）

1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社加積製作所

代表取締役社長　福元勝博

2. 所在地

〒936-0841 富山県滑川市柴 195

3. 事業内容

電力機器用熱交換器及び純水冷却装置の設計・製作

4. ホームページ

http://www.kzm-g.com/

5. 事業規模

資　本　金	：	3,090 万円
売　上　高	：	1,548 百万円（2020 年度実績）
従 業 員 数	：	47 名
床　面　積	：	5,879m2
生　産　量	：	2,314ton（2021 年度実績）

6. 環境管理責任者氏名及び連絡先

担当者氏名	：	福元　知幾
TEL	：	076-475-3922
FAX	：	076-475-0215

【2】対象範囲（認証・登録範囲）

1. 対象組織

株式会社加積製作所 本社工場（富山県滑川市柴 195）

2. 対象製品

パネルラジエター

純水冷却装置、配管

燃料電池用熱交換器、CO 変成器

3. 対象期間および発行日

期　間	：	毎年 9 月 21 日～翌年 9 月 20 日まで
発行日	：	毎年 10 月

【3】環境経営方針

【2020 年度環境経営方針】

環境経営方針

基本理念

㈱加積製作所は国内唯一のパネルラジエターメーカーとして、国内の電力インフラへ貢献すると同時に地球環境保全の重要性を理解し、事業活動において従業員一人一人が環境保全活動に取り組み、地球環境にとっての“いい会社”を目指します。
環境経営方針を達成するために、適切な組織の構築、必要な人的・物質的資源を整え、目標を定め継続的改善及び環境負荷の低減に取り組みます。
環境経営方針及び目標はそれぞれ可能な範囲で経営における課題とチャンスを踏まえ整理、明確にし、必要な場合は臨時見直しを行います。

環境境活動における方針・行動指針

㈱加積製作所は基本理念にのっとり、事業活動を行う中で以下の環境経営システム活動を行います。

1. 環境負荷低減とその継続的改善のために次の事項を重点的に取り組みます。
   - （ア） 炭酸ガス排出量の削減
   - （イ） 廃棄物排出量の削減と再利用の促進
   - （ウ） 水使用量の削減
   - （エ） グリーン購入の推進
   - （オ） 製品の設計・製造・物流に関して環境負荷低減を考慮する。
   - （カ） 上記の実現に向け環境目標を定め行動し、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます
2. 法規制、条例、顧客及び地域住民からの要求事項を遵守します。
3. 環境の保全に関する活動に参加し、地域社会との共生を図ります。
4. 全従業員へ環境方針の周知徹底を図ると共に、社外にも公表します。

制定日：２００８年　９月　８日

改訂日：２０１９年１０月　１日

株式会社加積製作所

代表取締役社長　福元勝博

【4】エコアクション21推進体制

エコアクション２１実施体制及び委員会メンバー

管理責任者	
正	副
工場長 '20/10/01 福元	―

対象期間：2020 年度（2020 年 10 月～2021 年 9 月）

実施体制：

代表者
社長　福元勝博

専務：福元秀俊

管理責任者（正）
役職：工場長
氏名：福元知幾

管理責任者（副）
役職：－
氏名：－

推進委員
中屋製造部長、萩原グループ長、平野グループ長、金山グループ長、今市主任
計５名

目標を定め指導的な立場で活動する。
役職者と兼任も有。

事務局
中島、杉田

役職者：原、森竹、中坪、今村、尾崎、中山、米田、畠山、松田、石崎慎、宝田、平井、木下、中野

上記以外の従業員

管理責任者、推進者を積極的にフォローする。
また
日常的な節電、節水、製品仕損じの削減等を心がける。

【5】環境経営目標

当社の環境活動における各項目について 2020 年度～2022 年度まで以下の中期目標を定め活動する。なお、当社の特徴として生産量における影響が大きいため削減目標とはせず、今回より維持目標としての値を定め活動するものとした。

【2020～2022 年中期目標及び結果（活動報告）】

項目（単位）	中期目標 2020 年度 (200921-230920) 目標値
炭酸ガス排出量の削減 省エネルギー （kg-CO2/t）	247
廃棄物排出量削減 リサイクルの推進 （t/t）	0.0973
水使用量の削減 節水 （m3/t）	8.75
化学物質の削減 （Kg）	PRTR 法に該当する化学物質が使用されていないか監視し、使用量の把握と適切な管理に努める。
グリーン購入の推進	特に事務業務における消費財などを調達するときに、エコマーク商品や、より電力消費量の少ない製品を選ぶ。
製品の設計・製造・物流に関しての環境配慮	顧客調達基準を満たす。

※1 炭酸ガス、廃棄物、水における管理値は原単位を使用する。原単位とは対象年度の総排出量を生産した製品の重量で割ったもの。

※2 期間中の炭酸ガス排出係数は平成 29 年 12 月環境省・経済産業省公表の電気事業者別排出係数より、北陸電力（0.000624t-CO2/kWh）を使用。

※3 上記以外にも委員会メンバーによる環境パトロールや各種推進・啓もう活動の実施、工場クラブ主催の美化活動などに積極的に参加するよう努める。

【6】環境活動計画

項目		具体的実施事項	対象部門
省エネ	省電力設備の採用推進	設備更新時に出来るだけ配慮し検討をおこなう。	設備担当
	効率的な生産工程の作成	工程計画時に可能な限り配慮する。	生産管理
	無駄な電力消費の低減推進	啓もう活動の実施。	全部署
	不要照明の消灯	消灯の啓もう実施。	全部署
	冷暖房の適正使用	エアコンの使用温度を適正に管理する。	事務所
	自動車使用時のアイドリングストップ	社用車のアイドリングストップ機能を活動し無駄アイドリングを減らす。	全部署
	運転中の急加速、急停車の防止	急発進、急停止をしないよう努める。	全部署
廃棄物削減	廃棄物の再資源化の徹底	発生した廃棄物を適切に分別する。	全部署
	パネルスクラップの削減	製造時のパネルスクラップ発生削減に努める。	製造
	裏紙使用推進	裏紙の使用を推進する。	事務所
	事務作業でのミスコピーの防止	えらんでマイプリントの使用推進啓もう。	事務所
	ペーパーレスの推進	ペーパーレス化が可能なものについて随時実施する。	全部署
節水	井戸水の適正使用	井戸水使用量の適正把握。	製造
	各現場、事務所での節水	手洗い時などの水使用の際、出しっぱなしにせず、蛇口をしっかり閉めるよう努める。	全部署
化学物質削減	化学物質の購入量の把握、適正使用推進	購入時の報告の徹底に努める。	全部署
グリーン調達	グリーン購入商品の推進	可能な限りグリーン商品、エコマーク商品を採用する。	全部署
製品環境配慮	梱包資材のリユース推進	再利用可能な梱包資材の活用に努める。	製造
全般	委員会での環境パトロールや推進活動実施	環境パトロールの実施。	委員会メンバー
	その他、地域・近隣への貢献	工場クラブ主催の美化活動への参加。	全部署

【7】環境経営目標の実績と評価

項目（単位）	2020 年度（2020 年 10 月～2021 年 9 月）			
	目標値	実績値	削減率	評価
炭酸ガス排出量の削減 省エネルギー （kg-CO2/t）	247	200	19%	○
廃棄物排出量削減 リサイクルの推進 （t/t）	0.0973	0.0853	13%	○
水使用量の削減 節水 （m3/t）	8.75	7.44	15%	○
化学物質の削減 （Kg）	PRTR 法に該当する化学物質が使用されていないか監視し、使用量の把握と適切な管理に努める。	該当する新たな化学物質の使用は無し。 適切な管理、監視を実施することができた。		○
グリーン購入の推進	エコマーク商品や、より電力消費量の少ない製品を選ぶ。	通販サイトのエコマークの有無によるソートでの確認～購入が担当者に定着。		○
製品の設計・製造・物流に関しての環境配慮	顧客調達基準を満たす。	関連会社も巻き込んでの梱包資材のリユース実現。出荷、積載効率の検討による輸送効率の向上。		○

評価凡例　○：目標達成、△：目標達成率 95%以上、▲：目標達成率 95%未満、×：要見直し（増加した場合など）

（炭酸ガス排出量削減）

目標は達成できたが昨年と比較すると総排出量、原単位あたりの排出量が共に増加した。年間で見ると昨年と同程度の生産量だが１月～６月にかけての生産量が少なかったことが原因と思われる。生産量が減少した際の対応が課題と考える。

（廃棄物の削減）

スクラップ発生の抑制のための活動を継続実施したことにより昨年と同程度の水準に抑えることができた。

（水使用量の削減）

炭酸ガス排出量と同様の傾向により増加した。

【8】環境活動計画の取組結果とその評価

項目		結果	評価/次年度への取り組み
省エネ	省電力設備の採用推進	○	LED ライトの導入を進めた。
	効率的な生産工程の作成	○	効率的に設備稼働できるような生産工程づくりに努めた。
	無駄な電力消費の低減推進	○	溶接ラインのチョコ停防止などに注力。不使用設備のオフなどを徹底。
	不要照明の消灯	○	工場、事務所ともに休憩中の消灯を徹底。
	冷暖房の適正使用	○	エアコンの適正温度管理に努め、外気の取り込みなどを活用した。
	自動車使用時のアイドリングストップ	○	車内に注意掲示するなど意識作りに努めた。
	運転中の急加速、急停車の防止	○	車内に注意掲示するなど意識作りに努めた。
廃棄物削減	廃棄物の再資源化の徹底	○	廃棄物の適切な処理に努めた。
	パネルスクラップの削減	○	スクラップ発生原因の追究や、再発防止対策実施の徹底などに努めた。
	裏紙使用推進	○	継続して裏紙使用に努めた。
	事務作業でのミスコピーの防止	○	えらんでマイプリントを活用してミス書類を印刷しない活動を徹底。
	ペーパーレス会議の推進	○	クラウドデータを活用したペーパーレス会議を導入。
節水	井戸水の適正使用	○	適正使用に努めた。
	各現場、事務所での節水	○	全社員で節水に努めた。
化学物質削減	化学物質の購入量の把握、適正使用推進	○	購買での含有チェック徹底、購入記録の徹底と使用量把握に努めた。
グリーン調達	グリーン購入商品の推進	○	継続してエコマーク商品の購入に努めた。
製品環境配慮	梱包資材のリユース推進	○	梱包資材の回収を継続して行った。
全般	委員会での環境パトロールや推進活動、啓蒙活動の実施	△	コロナ禍により活動を制限された。
	その他、地域・近隣への貢献	○	滑川工場クラブ主催の近隣美化活動（ゴミ拾い）を 2 回実施。

結果凡例　○：実施できた、△：実施したが活動として不十分、×：未実施

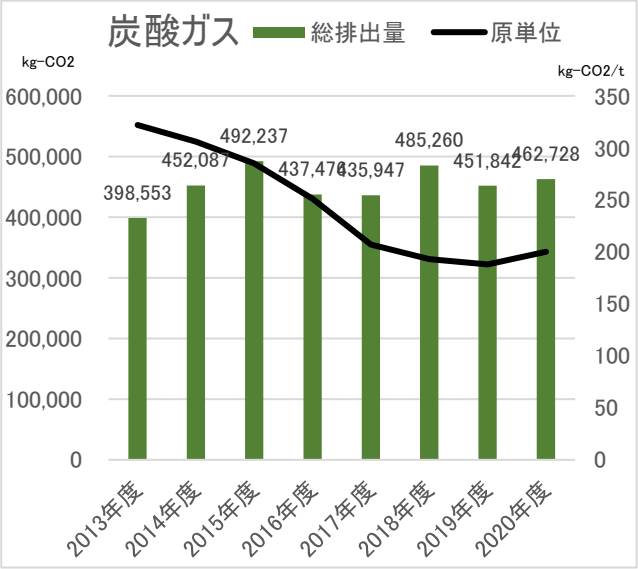
＜活動内容の紹介（一部）＞

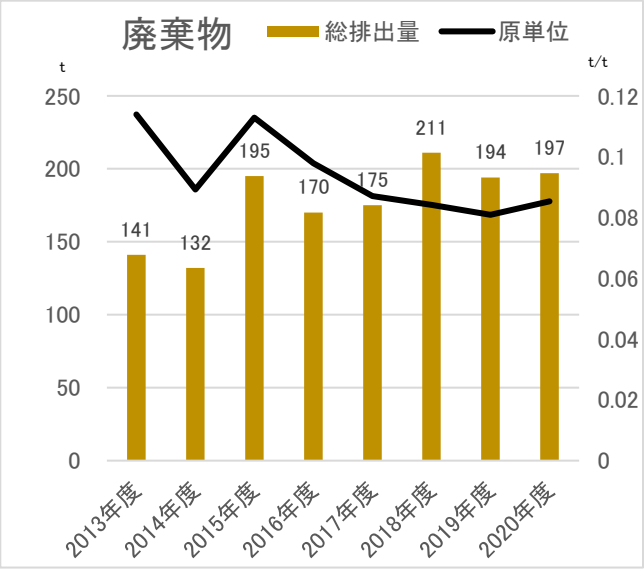
社長からの方針発表

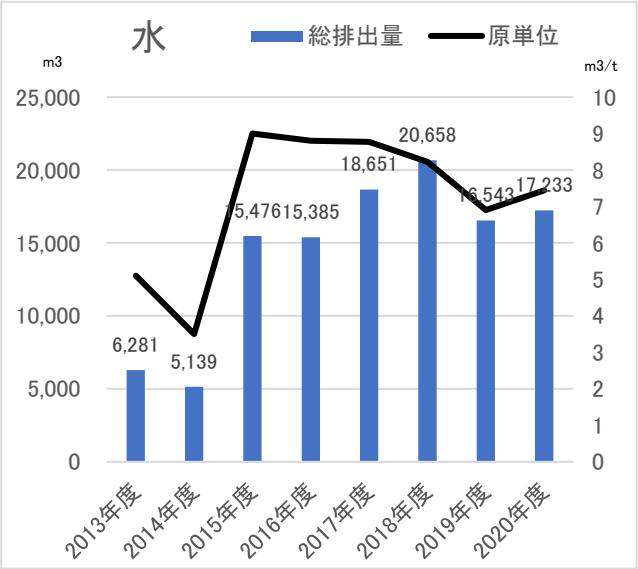
市内美化活動

避難訓練及び消火訓練

【9】環境負荷状況の推移







【10】環境関連法規等の順守状況

当社の 2020 年度における環境法令順守状況確認結果は以下の通りです。

関連法規	内容	確認
水質汚濁防止法	特定施設の届け出と事故発生時の報告	順守
県・市公害防止条例	特定施設の届け出、規制基準の順守	順守
電気事業法	特定設備の点検及び維持管理、事故発生時の報告	順守
消防法	特設施設の届け出、点検及び維持管理	順守
浄化槽法	特定施設の届け出、点検及び維持管理	順守
PCB 特別処置法	電気工作物の維持管理、事故発生時の報告	順守
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処分（運搬・処理の委託）、マニュフェスト管理	順守
フロン排出抑制法	対象機器の管理、簡易点検	順守

※環境に関する法規について不適合無し。また近隣や利害関係者からの苦情もありませんでした。

【11】代表者による全体評価と見直しの結果、総評

代表者による見直しを 2021 年 9 月 25 日に実施し下記の結果及び指示事項を頂戴しました。

項目	変更の必要性	指示事項及びコメント
環境目標とその達成状況	無し	順調に目標は達成されそうだが、2019 年度と比較すると原単位で増加傾向が見受けれられる。残りの期間も引き続き削減に努めてほしい。
環境活動の実施状況	無し	今後も環境負荷の低減に努めること。
環境関連法規の見直し・順守状況	無し	今後も適切な活動に努めること。
外部からの環境に関する苦情や要望等	無し	外部からの問い合わせがあった場合は迅速に対応すること。
自己チェックリストの結果	無し	引き続き良い点数が取れるよう努めること。
是正処置、予防処置	無し	特になし

代表者の全体評価及び考え

目標達成できそうで良好。ただし来年度はここ数年の物量に比べ生産量が大幅に落ちる可能性があるため効率の良い生産につとめ環境への負荷をへらしてほしい。 コロナ禍で数年実施されていなかった防災訓練を実施できたことは良かった。